

# 中小企業景況調査報告書（愛知県概略版）

（平成30年7月～9月期実績、平成30年10月～12月期見通し）

## 1 県内商工会地区における産業全体景況

### すべての指標が悪化したが、下げ幅は小幅な悪化































今期の産業全体の景況は、売上額D Iが△13.5、採算D Iが△23.2、資金繰りD Iが△12.4となり、対前期比でそれぞれ△9.0ポイント、△6.9ポイント、△5.0ポイント減少し、すべての指標が悪化に転じた。

次期は、すべての指標が、引き続き悪化・低下する見通しであるが、マイナスは今期同様小幅にとどまる見通しである。

### 産業全体の主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I △13.5（対前期比 △9.0 悪化） 次期予想 △16.9（対前期比 △3.4 低下）
- ・採算D I △23.2（対前期比 △6.9 悪化） 次期予想 △24.4（対前期比 △1.2 低下）
- ・資金繰りD I △12.4（対前期比 △5.0 悪化） 次期予想 △13.0（対前期比 △0.6 低下）

### 産業全体景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
29年10月～12月		△17.7 		△16.6 		△8.7 
30年1月～3月		△21.0 		△18.3 		△10.3 
30年4月～6月		△4.5 		△16.3 		△7.4 
30年7月～9月		△13.5 		△23.2 		△12.4 
30年10月～12月 （見通し）		△16.9 		△24.4 		△13.0 

## 2 業種別景況

### (1) 製造業

#### 製造業は売上額D I、資金繰りD Iは横這い































製造業では、売上額D Iが11.8、資金繰りD Iが△5.9となり、対前期比でそれぞれ横這いとなった。採算D Iは△20.6となり、△3.0ポイント減少し悪化に転じたが、マイナスは小幅にとどまった。

次期は、売上額D I、採算D Iが、悪化、低下する見通しであるが、特に売上額D Iは、△29.4ポイント悪化、採算D Iは、3期連続低下する見通しである。

#### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I 11.8 (対前期比 0.0 横這) 次期予想 △17.6 (対前期比 △29.4 悪化)
- ・採算D I △20.6 (対前期比 △3.0 低下) 次期予想 △29.5 (対前期比 △8.9 低下)
- ・資金繰りD I △5.9 (対前期比 0.0 横這) 次期予想 △3.0 (対前期比 2.9 好転)

#### 製造業景況天気図

時 期	売上額D I			採算D I			資金繰りD I		
29年10月～12月		△8.8			△18.2			△3.2	
30年1月～3月		△24.9			△12.5			△12.2	
30年4月～6月		11.8			△17.6			△5.9	
30年7月～9月		11.8			△20.6			△5.9	
30年10月～12月 (見通し)		△17.6			△29.5			△3.0	

## (2) 建設業

### 建設業はすべての指標が悪化・低迷

建設業では、売上額D Iが $\Delta 8.0$ 、採算D Iが $\Delta 16.0$ 、資金繰りD Iが $0.0$ となり、対前期比でそれぞれ $\Delta 3.9$ ポイント、 $\Delta 4.0$ ポイント、 $\Delta 4.2$ ポイント減少し、すべての指標が悪化、低迷したがマイナスは小幅にとどまった。































特に、採算D Iは3期連続、資金繰りD Iは2期連続して、好転・上昇が続いて改善傾向であったが、今期は、悪化に転じることとなった。

次期は、引き続き売上額D Iは低下する見通しであるが、採算D Iは好転、資金繰りD Iは、横這いとなる見通しである。

#### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I  $\Delta 8.0$  (対前期比  $\Delta 3.9$  悪化) 次期予想  $\Delta 12.0$  (対前期比  $\Delta 4.0$  低下)
- ・採算D I  $\Delta 16.0$  (対前期比  $\Delta 4.0$  悪化) 次期予想  $\Delta 8.0$  (対前期比  $8.0$  好転)
- ・資金繰りD I  $0.0$  (対前期比  $\Delta 4.2$  悪化) 次期予想  $0.0$  (対前期比  $0.0$  横這)

#### 建設業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
29年10月~12月		$\Delta 25.0$ 		$\Delta 25.0$ 		$\Delta 16.0$ 
30年1月~3月		$\Delta 25.0$ 		$\Delta 20.0$ 		$\Delta 12.0$ 
30年4月~6月		$\Delta 4.1$ 		$\Delta 12.0$ 		$4.2$ 
30年7月~9月		$\Delta 8.0$ 		$\Delta 16.0$ 		$0.0$ 
30年10月~12月 (見通し)		$\Delta 12.0$ 		$\Delta 8.0$ 		$0.0$ 

### (3) 小売業

#### 小売業はすべての指標が悪化・低下

小売業では、売上額D Iが $\Delta 22.8$ 、採算D Iは $\Delta 42.6$ 、資金繰りD Iは $\Delta 23.4$ となり、対前期比でそれぞれ4.1ポイント、19.6ポイント、12.7ポイント減少し、すべての指標が悪化に転じた。































特に売上額D Iは、3期連続の改善により上昇していたが、悪化に転じた。採算D I、資金繰りD Iが2ケタのマイナスとなるなど、大幅な数値の悪化が見られた。

次期は、売上額D I、採算D Iは好転する見通しである。

#### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I  $\Delta 22.8$  (対前期比  $\Delta 4.1$  悪化) 次期予想  $\Delta 20.8$  (対前期比 2.0 好転)
- ・採算D I  $\Delta 42.6$  (対前期比  $\Delta 19.6$  悪化) 次期予想  $\Delta 36.1$  (対前期比 6.5 好転)
- ・資金繰りD I  $\Delta 23.4$  (対前期比  $\Delta 12.7$  悪化) 次期予想  $\Delta 23.4$  (対前期比 0.0 横這)

#### 小売業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
29年10月~12月		$\Delta 35.5$ 		$\Delta 21.3$ 		$\Delta 14.6$ 
30年1月~3月		$\Delta 26.1$ 		$\Delta 27.0$ 		$\Delta 14.9$ 
30年4月~6月		$\Delta 18.7$ 		$\Delta 23.0$ 		$\Delta 10.7$ 
30年7月~9月		$\Delta 22.8$ 		$\Delta 42.6$ 		$\Delta 23.4$ 
30年10月~12月 (見通し)		$\Delta 20.8$ 		$\Delta 36.1$ 		$\Delta 23.4$ 

## (4) サービス業

### サービス業の売上D I は好転と悪化の繰返し

サービス業では、売上額D Iが $\Delta 21.2$ 、採算D Iが $\Delta 14.0$ 、対前期比でそれぞれ18.4ポイント、1.4ポイント減少し、特に売上額D Iは、2ケタのマイナスになるなど大幅な数値の悪化が見られた。資金繰りは、 $\Delta 12.7$ となり、2.8ポイント減少し、3期連続で低下した。































また、売上額D Iは、4半期ごとに好転、悪化を繰り返している状況である。

次期は、売上額D Iは、好転に転じる見通しであるが、資金繰りD Iは、4期連続で低下する見通しである。

#### 主要3D Iの対前年同期比推移

- ・売上額D I  $\Delta 21.2$  (対前期比  $\Delta 18.4$  悪化) 次期予想  $\Delta 15.5$  (対前期比  $\Delta 5.7$  好転)
- ・採算D I  $\Delta 14.0$  (対前期比  $\Delta 1.4$  悪化) 次期予想  $\Delta 20.0$  (対前期比  $\Delta 6.0$  低下)
- ・資金繰りD I  $\Delta 12.7$  (対前期比  $\Delta 2.8$  低下) 次期予想  $\Delta 15.5$  (対前期比  $\Delta 2.8$  低下)

#### サービス業景況天気図

時 期	売上額D I		採算D I		資金繰りD I	
	天気	数値	天気	数値	天気	数値
29年10月~12月		$\Delta 7.2$ 		$\Delta 10.0$ 		$\Delta 4.3$ 
30年1月~3月		$\Delta 14.3$ 		$\Delta 14.3$ 		$\Delta 5.8$ 
30年4月~6月		$\Delta 2.8$ 		$\Delta 12.6$ 		$\Delta 9.9$ 
30年7月~9月		$\Delta 21.2$ 		$\Delta 14.0$ 		$\Delta 12.7$ 
30年10月~12月 (見通し)		$\Delta 15.5$ 		$\Delta 20.0$ 		$\Delta 15.5$ 

### 3 設備投資の状況

	今期実施		来期計画	
	実施企業割合	主な投資内容	計画企業割合	主な投資内容
製造業	8.6%	土地、生産設備、 付帯設備	22.9%	工場建物、生産設備 車両運搬具、付帯施設 OA機器、福利厚生施設、 その他
建設業	0.0%		4.0%	その他
小売業	14.9%	店舗、車両運搬具、 付帯施設、OA機器、 その他	6.2%	店舗、販売設備、 OA機器、
サービス業	11.1%	土地、建物、サービス、 車両運搬具、OA機器、 その他	14.1%	土地、建物、サービス 車両運搬具、付帯施設、 OA機器、その他

### 4 経営上の問題点

業種	順位	問題点の内容	割合
製造業	1位	原材料価格の上昇	25.0%
	2位	従業員の確保難 需要の停滞	21.9%
建設業	1位	大企業の進出による競争の激化	12.5%
		材料価格の上昇	
		請負単価の低下、上昇難	
		熟練技術者の確保難	
小売業	1位	消費者ニーズの変化	19.0%
		需要の停滞	
	3位	販売単価の低下、上昇難	11.9%
サービス業	1位	需要の停滞	21.3%
	2位	材料等仕入単価の上昇	14.8%
	3位	店舗施設の狭隘・老朽化	11.5%

# 中小企業景況調査について

## 1 調査目的

この調査は、四半期毎に、全国商工会連合会が行う中小企業景況調査から愛知県内商工会地区における経済動向等に関する情報の分析を行い、効果的な経営支援の実施ならびに事業活動の参考とすることを目的とする。

## 2 調査要領

### (1) 調査対象時期

平成30年7月から9月の第2四半期を対象とし、調査時点は平成30年9月1日。




### (2) 調査対象企業

愛知県内12商工会地区内180企業。(内訳：製造業35企業、建設業25企業、小売業48企業、サービス業72企業)。

### (3) 各調査項目の数字及び記号の説明

本報告書中のD Iとは、景気動向指数と呼ばれるもので、各調査項目についての増加（上昇、好転）企業割合から減少（低下、悪化）企業割合を差し引いた数値。

この数値と記号の関係については、下記のとおり

 雨 △100.0～△60.1	 曇 △ 60.0～△20.1	 薄曇 △ 20.0～20.0	 晴れ 20.1～60.0	 快晴 60.1～100.0
---	---	---	---	--

平成30年10月1日作成

愛知県商工会連合会 広域経営支援センター

TEL : 052-562-0041

